



笑顔でつなぐ黒岩の未来 (黒岩中学校)

あか わ

Sakawa

74
2018.5.1

議会だより

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents

目次



休校となった黒岩中学校

平成30年度 一般会計予算68億2,596万円	2
町民テニスコート整備	4
産業廃棄物最終処分場 一般質問	11
産業廃棄物最終処分場候補地位置図	18
議会懇談会	19

平成30年度 一般会計予算

68億2,596万円

持続可能なまちづくり予算 「子育てしやすいまち宣言」

賛成全員で 可決

3月定例会は、3月2日から9日までの会期で開かれました。

平成30年度一般会計予算をはじめ平成29年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案47件を審議、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



元気いっぱい（加茂地区民運動会）

平成30年度の一般会計予算は約68億2千万円、前年に比べて約3億円の増となっており、前年度からの増加率は4・6%となっています。

増加の要因は、高吾北広域清掃センター基幹的整備工事に伴う特別負担金及び町民テニスコート増設工事によるものです。

歳入
入るお金

平成30年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は約19億9千万円。主な収入となる住民税や固定資産税などの町税が昨年より0.2%減の約10億9千万円。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）等から7億5千万円を繰り入れています。

国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は13%減の約25億円となります。

歳出
出るお金

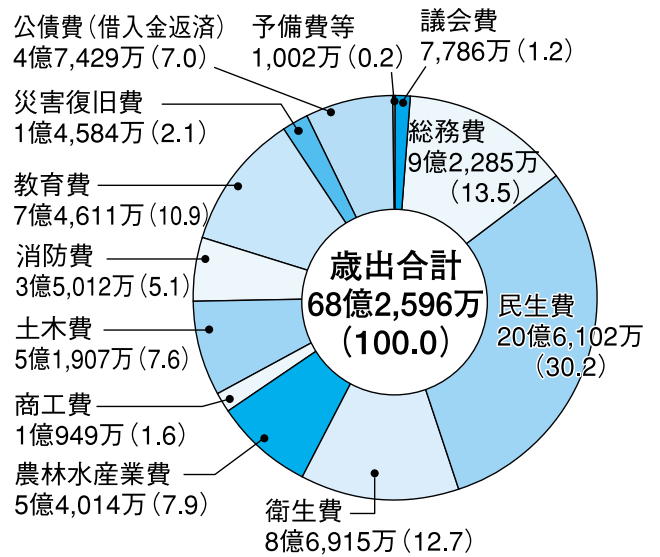
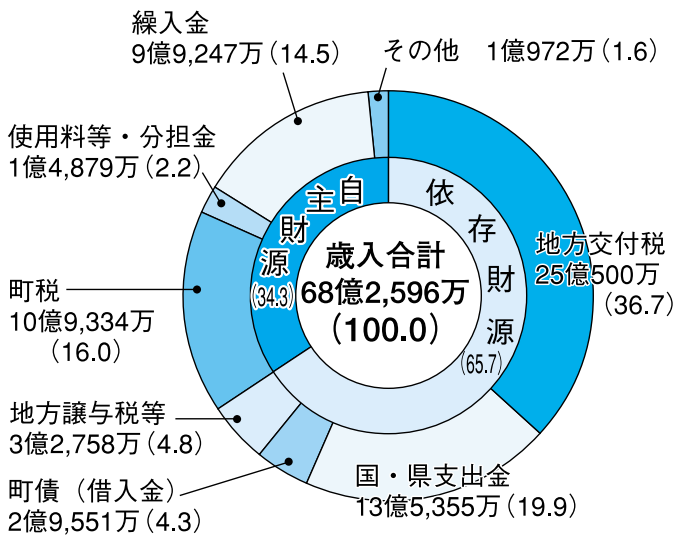
人件費は昨年より2.2%増の約10億4千万円。投資的経費は25・6%増の11億4千万円となっています。

平成30年度予算

総額 122億1,919万円

単位：円（％）

平成30年度一般会計予算



平成30年度各会計の当初予算

(単位：円)

会計名		本年度予算総額	前年度予算総額	比較増減
一般会計		68億2,596万	65億2,436万	3億159万
特別会計	国民健康保険	17億4,887万	19億9,906万	△2億5,019万
	住宅新築資金等貸付事業	430万	131万	299万
	学校給食	6,180万	6,177万	3万
	農業集落排水事業	2,546万	2,538万	8万
	介護保険	17億9,853万	18億7,402万	△7,549万
	後期高齢者医療	2億2,237万	2億3,567万	△1,330万
	水道事業	3億6,642万	3億186万	6,456万
	病院事業	20億557万	20億277万	280万
総計	130億5,928万	130億2,620万	3,308万	
重複額	8億4,009万	9億2,647万	△8,638万	
全会計純計	122億1,919万	120億9,973万	1億1,946万	

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

この事業に議会が

注目

3月定例会において、平成30年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。

地域福祉の拠点施設として、斗賀野、尾川の2地区に加え、平成30年度から黒岩、加茂地区にも設置する。

あったかふれあいセンター事業
3,450万円

緊急避難場所に指定されている公民館・集会所の耐震化を行い、大規模災害時の住民の安全を確保する。

緊急避難場所耐震化整備事業
3,220万円



黒岩あったかのスタッフ

教育研究所を設置し、ふるさと教育の推進・不登校対策・学力向上に取り組む。

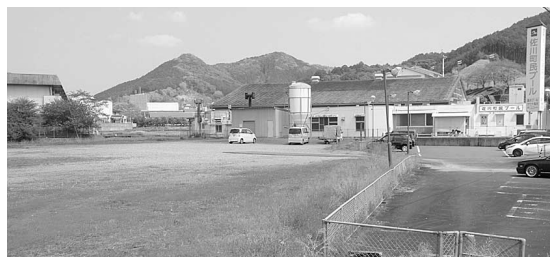
教育研究所費
2,497万円

町民テニスコートを増設し、スポーツ人口の増加や健康増進を図る。

町民テニスコート整備事業
1億3,063万円



浜田所長と5名の所員



テニスコート予定地

地域の実情に詳しい人材を集落支援員として委嘱し、各地区に配置することで、地域と町の密接な連携を図る。平成30年度は、斗賀野、尾川、黒岩、加茂の4地区へ配置する。

集落支援員事業
1,719万円

平成29年度3月 補正予算

(単位：円)



会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		△3億3,771万	63億7,799万
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	44万	20億5,056万
	学 校 給 食	△60万	6,118万
	農 業 集 落 排 水 事 業	△83万	2,455万
	介 護 保 険	△612万	18億8,042万
	後 期 高 齢 者 医 療	△961万	2億2,892万
水 道 事 業		△2,795万	2億7,391万

※補正減額は主に事業の精査をした結果生じたものです。

3月 補正予算 ピックアップ

保健衛生総務費

186万円

医療救護所用資機材整備のため増額補正する。

保育所運営費

3,730万円

保育士処遇改善のための保育単価改訂に伴い増額補正する。

急傾斜地崩壊対策事業

649万円

国の補正予算により、急傾斜地崩壊対策事業(県工事)の事業量増加に伴う町の負担金を増額補正する。



お昼寝時でも大忙し(尾川中央保育園)

平成30年度予算

(単位：円)

会 計 名		予算額	前年度
一 般 会 計		20億1,468万	8億1,656万
特 別 会 計	特別養護老人ホーム	12億1,169万	11億9,395万
	養護老人ホーム	1億1,258万	1億1,059万
	障害者支援施設	1億7,355万	1億7,012万
	ふるさと市町村圏	1,148万	3,190万

特別養護老人ホーム
構成町内の他事業者が運営する高齢者福祉施設の増加など高齢者向け福祉施設の充実に伴い、入所待機者は減少している。また、介護職員の確保については人材、人員不足が課題となっている。

ヘリコプターによる搬送は、構成町の離着陸場の整備により、ドクターヘリや防災ヘリを72回要請しており、救命率の向上に大きな効果が表れている。
火災出動は12件で、うち佐川町は5件となっている。

清掃センター
1月末のごみ総量は、7433トン、佐川町が全体の53%の3917トンとなっている。

消防署
平成29年度中の出動状況は、救急出動が1549件で、このうち65歳以上の高齢者搬送の割合は78%を占めている。

《組合長 諸般報告》

高吾北
広域
町村事務組合
議会
2月27日

条例関連

佐川町課設置条例の一部改正

平成30年度の機構改革により、収納管理課の業務を税務課に引き継ぎ、収納管理課を廃止する。

加茂地区住民センター・老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の廃止

加茂地区集落活動センターの完成により、使用することがなくなり、管理することが不要になった「加茂地区住民センター」及び「老人憩いの家」の設置及び管理に関する条例を廃止する。

佐川町消防団員任免に関する条例の一部改正

団長及び副団長の任期

を定めるため、条例の一部を改正する。

佐川町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険の制度改正に伴い、地方税法施行規則が改正されたことにより必要な改正を行う。また、県が算定した事業費納付金に応じて保険税額を算定することとなるため、税率を改正する。

佐川町介護保険条例の一部改正

平成30年度介護保険制度の改正に伴い、介護保険料の改正等、必要な事項について条例の一部を改正する。

佐川町病院事業薬剤師人材育成奨学金貸与条例の制定

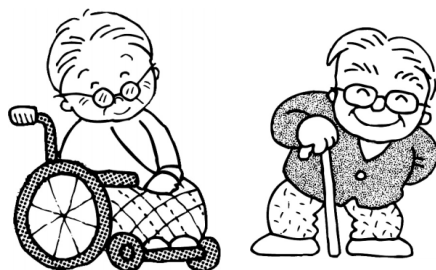
高北病院の薬剤師の充実及び確保を図るため、将来高北病院において薬剤師の業務に従事しようとする者に対し、奨学金を貸与することを目的として新たに条例を制定する。

佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

平成30年4月1日より、後期高齢者医療制度における被保険者の住所地特例の規定が見直されたことにより、条例の一部を改正する。



平成30年消防団総合演習



特別委員会の設置

西村議会運営委員長から「議員定数及び議員報酬に関する調査特別委員会」の設置について提案があり、審議の結果、委員は全議員14名で構成する特別委員会を設置することが賛成全員で可決されました。
 (委員長 藤原健祐・副委員長 西村清勇)

指定管理者の指定

管理を委託する施設	管理を行う団体
尾川地区集落活動センターたいこ岩	尾川地区活性化協議会
佐川町民プール・佐川町民テニスコート	有限会社 ファイブ・エコ
ふれあいの里尾川	尾川地区活性化協議会
佐川町永野共同集荷所（貯蔵施設）	J A コスモス農業協同組合

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計予算

坂本議員 緊急避難場所耐震化整備事業で今回整備する場所はどこか。

総務課長 整備される場所は、本村東・瑞応・山本・角口・狩場・野添・入寺山・蔵法院・川原田・鳥ノ巣・原の各公民館。



川原田集会所

坂本議員 私立保育園の運営費が増額されている理由は何か。
健康福祉課長 私立保育園への賃金など処遇改善に充てる。

坂本議員 斗賀野青空公園のトイレ完成時期はいつか。

産業建設課長 平成30年度内に完成するよう努める。

西森議員 約462万円の公用車購入費はどういうものか。

チーム佐川推進課長 本格運行しているさかわくぐるバスの予備車として購入する。

西森議員 道の駅計画策定委託料は見積もりチェックはされているか。

チーム佐川推進課長 一般的な方法に基づいて見積もりチェックしている。

橋元議員 平成30年度の小中学校の就学援助費の申請者数と世帯数は。
教育長 小学生71名、中学生37名で72世帯。



青空公園トイレ

松浦議員 佐川町ブランド構築の「まじめにおもしろく」の365日ウェブサイトにへのアクセスの状況とその必要性について。

チーム佐川推進課長 平成29年度のアクセスはページビュー数で約3万回。情報発信の1つの核としてウェブサイトの必要性を考えている。

松浦議員 ふるさと教育計画開発委託料の説明を求めぬ。

町長 2〜3年程度でふるさと教育の体系化及びICT化を図っていきたい。最終的に小学校1年生から中学校3年生までのふるさと教育の副読本を作りたい。

その他の議案

西森議員 収納管理課を税務課に統合するということであるが、租税債権の他、私債権はどうする

のか。滞納者を名寄せして管理するのか。

町長 保育料などの私債権については、それぞれの担当課で債務徴収していくことになる。

収納管理課長補佐 給食費や保育料等についても滞納者は名寄せして管理する。



加茂地区住民センター

中村議員 町民プールの指定管理者の変更で従来のプール職員が雇ってもらえないのではないかと心配しているが、どうなるか。

教育次長 まったく違う会社となるので教育委員会も入り、今後業者と協議し、決定することとなる。

坂本議員 介護保険事業計画で地域密着型サービスの認知症対応型共同生活介護及び小規模多機能型居宅介護における事業所増の計画があるが、やる業者があるのかないのか。

健康福祉課長 やりたい意向の事業所はある。障がい者も一緒に利用できる共生型で計画している。

下川議員 加茂地区住民センター・老人憩いの家の条例の廃止は、加茂地区集落活動センターができたことで、住民センター・老人憩いの家の役割を新たな施設で担うとの考えか。また、廃止された施設の活用はどうか。
総務課長 地元自治会から使用していないのことで廃止を決めた。新たな施設で行うことは検討していない。廃止された施設の検討はされていない。

各議員の意思表明

賛否表(平成30年3月定例会) ○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村純正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
平成29年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度学校給食特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成29年度水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
平成30年度病院事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町用語等の整理に関する特別措置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町例規等内容精査に伴う条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
加茂地区住民センター・老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町消防団員任免に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
第5期佐川町障害福祉計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町子ども・子育て支援事業計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町教育相談所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町放課後児童健全育成事業実施条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町病院事業薬剤師人材育成奨学金貸与条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
尾川地区集落活動センターたいこ岩の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町民プール及び佐川町民テニスコートの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
ふれあいの里尾川の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
佐川町永野共同集荷所(貯蔵施設)の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発委第1号 佐川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
発委第2号 議員定数及び議員報酬に関する調査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

9人が町政を問う

ここが聞きたい

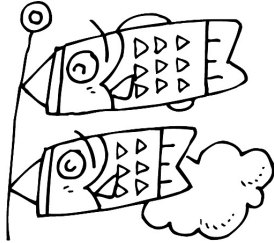


松浦 隆起 議員

ユネスコ・スクール 参加の検討すべきだ

町長 研究し検討を進めたい

本町が、モデル事業への応募の準備を進めている持続可能な社会の実現を目指す開発目標・SDGsの考え方を子どもたちにも知ってもらおう、教育版ともいえる、ユネスコ・スクールへの参加を検討するべきだ。
堀見町長 来年度の4月より、教育研究所が立ち上がるので、ユネスコ・スクールについても、研究をして、検討を進めていきたいと思います。



いじめ通報アプリ 導入を検討すべきだ

教育長 導入に向けて研究したい

学校でのいじめによる悲劇を未然に防ぐには、子どもからのSOSをいかに早くキャッチし、適切に対処するかが大きな鍵であり、重要な点だ。そういった観点からも、匿名で、いじめを通報できるアプリの導入を検討するべきだ。
川井教育長 不登校対策、いじめ防止対策の一助として、導入した時のメリットを含めて、導入に向けての研究をしていきたい。



いろんなアプリ活用できるかな

乳幼児が受ける予防接種の日程をスマートフォンなどで簡単に管理でき、接種日が近づくとメールで知らせてくれる、予防接種自動スケジューラーの導入について検討するべきだ。

健康福祉課長

声があれば検討したい

予防接種自動スケジューラー 導入、検討するべきだ

田村健康福祉課長

本町は、個別の接種記録を総合行政システムで一括管理しており、問い合わせについて、十分対応できる体制は整っていると考えているが、保護者から声があれば、検討したい。



子どもは元気が一番 (斗賀野中央保育所)



坂本 玲子 議員

佐川地区にもあったか ふれあいセンターを

健康福祉課長 必要と考えている

あったかふれあいセンター事業は、地域づくりや健康づくりに大いに役立つ。町内でないのは佐川地区のみだ。夢まち協議会の方が集いを実施しているが、運営は極めて厳しい。「あったか」事



みんなが集うと楽しいね (夢まちランド)

業をすることで、常駐職員が確保され、また送り迎えができる。佐川地区に「あったか」が必要と思うが、つくることがあるか。田村健康福祉課長 佐川地区においても「あったか」が必要であると考えている。ただ地区が広いので、誰が運営するかという点で慎重かつ十分な検討が必要だ。町として今まで積極的な関与が少なかった。今後は地域づくりについて地域の皆さんと検討していきたい。

町民プール サービス低下はないか

教育長 シルバー割引・従来どおり

町民プールは子どもからお年寄りまで利用され、集いの場として、また健康づくりにも大いに貢献している。プールの指定管理者が変わることで、利用者には不安が広がっている。今までのサービスは提供できるのか。また町民が気持ちよく利用するため、内装や設備に関して改善が必要ではないか。片岡教育次長 基本的には規則で決められている65歳以上の方々のサービスについては従来どおり継続していく。現在の指定管理者が自主的に行っている割引については継続できるように協議をしていく。町民が気持ちよく使っていくよう、内装関係の修繕に関しては、優先順位を考えながら、適宜修繕をしていく。

県への移管で 国保税どう変わる

町民課長 資産割を廃止する

制度が変わり、県が所管するようになる。国保税の徴収方式など変わるころは何か。またその変更によって保険税が急騰し困る世帯は出てこないか。

和町町民課長 平成30年度より県が運営主体となる。徴収方法は4方式から3方式へと変換し、資産割を廃止する。今回の変更で保険税総額を少なくなることできる。保険税額が急激に増える世帯はないものとして提案している。その他の質問 会計年度任用制度について



プール天井にカビが！



橋元 陽一 議員

このたびの県内3カ所の選定経過と、日高の発煙事故を踏まえた安全性の判断基準並びに半永久的な管理施設のあり方について、町長はどのように捉えているか。

産業廃棄物最終処分場 選定は適正か

町長 選定法に異論はない



もうすぐ満パイ 日高エコサイクルセンター

掘見町長 県は論理的に、公正に、公平に、科学的に選定してきており、選定法に関して異論はない。
日高の発煙事故はあつてはならない事象だ。原因は断定されていないが、県は2度と起きないように万全を期して、鉱さいの置き場所など科学的に対処している。
国も県も科学的根拠、法律に基づいて、管理をしていく指針、方針を決めているので特段問題はないと考えている。

黒岩中学校の休校が決まった。12月議会以降の取り組みにおいて、地元からの意見や不安の声が寄せられていないか。また、用務員の処遇は。

黒岩中学校 休校措置の進捗状況は

教育長 地域の声をしっかり聞く

川井教育長 通学方法について心配する声に、基本的にスクールバスを運行することを説明し、理解いただいた。3月中にもPTAと協議があり、しっかり声を聞いていく。
佐川中学校での授業や部活動の交流で、黒岩の子どもたちから非常に楽しかったとの声があったと報告を受けた。
用務員は来年度、町内のほかの学校で雇用する方向で検討している。

木造住宅耐震化支援事業の 進捗状況は

産業建設課長 目標に到達していない

平成19年に策定した耐震改修促進計画の進捗状況はどうなっているか。
平成29年度の耐震化の申込数と町内業者の工事請負件数の実情は。
公文産業建設課長 平成19年度に策定し、平成28年度に一部改正した佐川町耐震改修促進計画は、工事件数が伸び悩み、目標値90%到達はできていない。県が策定した第2期計画をつけて、平成30年度に全面的に見直す予定。



黒岩中学校の終了式

申込数と町内業者の請負件数は、耐震診断で44件中29件、耐震設計35件中12件、耐震工事は37件中15件。

その他の質問
生活保護基準引き下げによる就学援助制度への影響について



森 正彦 議員

新年度予算 町長の思いは

町長 幸せの輪が広がっていく予算

平成30年度当初予算は町長2期目の最初の予算となる、町長の思いは。堀見町長 平成30年度当初予算は、スポーツ振興による健康ひらりととしてテニスコートの整備、新しい取り組みとして教育



チーム佐川の日



大賞の眞辺さんと奥さん

研究所の立ち上げ、そして集落活動センター、あつたかふれあいセンターの活動支援が主立った予算だ。集落活動センターに人が集い、つながり、皆で支えあう。あつたかふれあいセンターでは事業が軌道にのり、幸せの輪が広がっていくように予算組みを行った。

第5次総合計画 推進はどのように

チーム佐川推進課長 チーム佐川の日などで推進

第5次佐川町総合計画はみんなで作るということが多く町の民が参加した。町民からはその後どう進んでいるか分からないという意見がある。計画策定のもと、みんなで作るまちづくりの推進はどのように行われているか。岡崎チーム佐川推進課長 総合計画の推進体制は、審議会を年2回開催し、事業の進捗状況を報告している。町ぐるみの推進、浸透、機運の醸成を図るためにチーム佐川の日イベントを実施し、まちづくりを積極的にかかわっている団体や個人を表彰する機会も設けている。また、住民との協力は集落活動センターを運営している地域組織の方々と定期的に会議を開き、推進を図っている。

新図書館建設の スケジュールは

教育長 平成33年度着工を目指す

新図書館の建設について、平成29年度はどう取り組んだのか、また、平成30年度以降のスケジュールは。

川井教育長 本年度の取り組みは図書館運営協議会で視察を行い、主に図書館運営のソフト面を中心に住民と協働のあり方を学んだ。来年度は図書館整備検討委員会を設置し、平成30・31年度の2年をかけて新図書館の基本構想を固めていくとともに、町民向けの講演会を開催し理解や機運を高めていきたい。この間に、建設場所や単独施設か複合施設にするのか決定し、平成32年度には基本設計と実施設計を行い、平成33年度の着工を目指すという。



新しい図書館はいつできる？



下川 芳樹 議員

新産業廃棄物最終処分場の候補地3カ所の中に佐川町加茂が挙がっている。町は県からの議員全員協議会での説明内容をどのように受け止めたのか。



大平山からのぞむ候補地

産廃住民説明会 どのような範囲で

町長 加茂地区の皆さんにしっかり説明

住民説明会の対象範囲、施設を導入した場合の協定書作成など、町の考え方は。
堀見町長 3カ所の選定過程について異論はないが、県がどのようなプロセスで1カ所に絞っていくのか説明がない。県と連携して町の役割を果たしていく。
住民説明会はまず、地元である加茂地区の皆さんにしっかり説明する。協定書に関しては現時点で分からないとしか答えられない。

地域担当職員制度の 検討内容は

総務課長 具体的な取り組み、できてない

目的、狙い、課題について検討を重ねることであつたが、進んだ内容はあるか。
麻田総務課長 平成29年度は佐川町例規集のホームページ公開に向け、約670件の条例規則等の例規集内容の精査に係る業務を優先したため、具体的な取り組みはできていない。役割等については十分認識しているが、今後の業務を見ながら検討していきたい。

あつたかふれあいセンターと 町の連携は

健康福祉課長 連携してやっていく

平成30年度から、福祉の拠点あつたかふれあいセンターが4カ所となる。これらと町との連携により、地域福祉や介護予防、健康づくりにつながる取り組みを進めるべきだ。

田村健康福祉課長 あつたかふれあいセンターと町との連携については、第3次地域福祉アクションプランなどでそれぞれの役割をうたっている。平成30年から始まる6年間の計画期間で、段階的に連携して実施していきたい。



スタートした黒岩のあつたか



中村 卓司 議員

産業廃棄物最終処分場 住民の理解必要

町長 住民の声を丁寧に聞く

今回の産業廃棄物処分場は佐川町が5町村で合併した後の歴史的な重要な大問題である。そこで一番重要なことは住民の理解だと思つ。

町長はそのことをごどう考えるか。

堀見町長 住民の皆様の声をご丁寧に聞くことは大切だと思つ。住民の理解言葉についても、いろいろな観点・視点があると思つ。県がどのように考へているか時間をかけて聞いてみたい。

道の駅は どうなっちゅうが

町長 平成30年度末までに場所を絞り込みたい

町民の皆さんから「道の駅はどっちなっちゅうが」との声がある。また道の駅検討委員会で町内の2カ所を予定地として定め、執行部に答申をしている。執行部はこれまで3月までに場所を決定すると発言していたが、今後どうするのか。

堀見町長 道の駅検討委員会より2カ所の提案をいただいたが、もう少し時間をかけて場所を絞り込みたい。また土地の所有者の方の意見も聞きたいと思つ。来年度末(平成30年度)までに候補地を1つに絞りたいたいと思つ。



加茂地区住民への産廃説明会

ぐるぐるバス 現状は

チーム佐川推進課長 要望を聞き改善

ぐるぐるバスは本格運行が始まり、4台のバスが走っている。その実績を踏まえ事業経費はどうなっているか。乗車率を上げる努力はどうか。岡崎チーム佐川推進課長 実証運行、本格運行の委託料を除いた合計2千9百万円程度が経費であり、そのうち県補助金が6割で4割が町の財源。住民の方の要望も聞き改善し、周知徹底もしていきたい。



ぐるぐるバス勢ぞろい



西森 勝仁 議員

町長は、本年度予算が10億円不足するので基金(貯金)を崩したと言っていますが、目玉事業も強いて言えばテニスコートだけ。町民の生活は苦しい中で、税金をこんなに湯水

10億円も不足する 疑惑の予算なぜ組む

町長 しっかりやっていく

のように使ったばかげた予算は納得できないし、疑惑さえ感じる。

事業実績が大して上がっていない中で、次々と事業を導入しているが、事業を厳選しなければ基金はすぐ底を突くのは明白である。どう思うか。

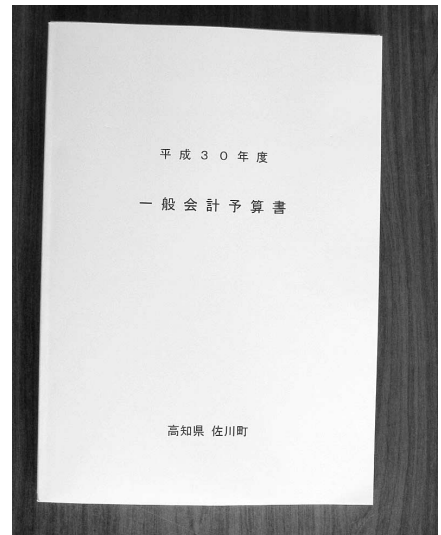
堀見町長 予算編成方針は、私が考え各課で予算組みをし、査定もした。

しかし、今回大変重要な意見(指摘)があったので肝に銘じて、今後の仕事に生かす、しっかりやっていく。

多額の委託費 どこに委託する

町長 専門業者に委託する

各課に合計9億5千万円の委託費が計上されている。どこに委託するのか。また、見積書の中には3百万、4百万、5百40万といったいわゆる「のっそり」の金額があり、さまざまな内容のものもある。地元業者でできることは地元でやる。決して東京などの県外業者の口車に乗って町民の貴重な税金を搾取されることだけはやめてほしい。



新年度予算は大丈夫？

堀見町長 地方創生戦略については、外部専門家制度等を活用し、今年も東京の博報堂に委託する。

岡崎チーム佐川推進課長 発明ラボや佐川ブランド構築業務などは博報堂とセットで東京の業者に委託し、観光業務は町の観光協会に委託する。
公文産業建設課長 作業道の設計や自伐型林業推進などを委託する。

増え続ける職員数と試験問題 一体どうなっている

町長 定員以内で採用

が少ないと言っているが、どこと比較しているのか。

また、採用試験に「町長が龍馬マラソンを何分で走ったか」という問題があったと聞かすが、これは公務員として職務遂行能力や適性を問う問題とは関係なく不公平ではないか。

堀見町長 各課長の意見を聞きながら採用してきた。定数を超えることなく採用している。

類似団体については調査できてない。試験では算数の問題の中で、私がどのくらい速さで走ったかという問題を出した。

職員数が増え続けているが、定数管理をしっかりとっているのか。町長は、類似町村に比べて職員数



急カーブの多い作業道



宮崎 知恵子 議員

チーム佐川とは

町長 しあわせな町づくりを共有

チーム佐川というのは
どういう位置づけにある
のか。
チーム佐川は何をして
いるのという疑問があ
る。今一度簡単に説明を
求める。

発明ラボは 何をしているのか

チーム佐川推進課長 商品開発等をしている

堀見町長 チーム佐川と
いう言葉は、佐川町の皆
さんが一緒になって佐川
の幸せなまちづくりに取
り組んでいきましょよと
いう思いがあって使っ
ている。
これがチーム佐川です
という組織があるわけ
はない。ゴールを共有し
て、みんなで励ましあい
ながら同じ方向を向いて
助け合って進んでいく、
これを一つのチーム佐川
と捉えている。

地域おこし協力隊が参
加している発明ラボは何
をしているのか町民に見
えにくいところがある。
さまざまな団体と課題を
共有し、意見交換をして
進めてはどうか。
また、特殊な技術を持
っているが、任後も地
域にその技術を生かして
いく方向はできている
か。

協力隊が中心になって放
課後発明クラブや商品開
発なども行っている。町
民との距離を縮めるよう
な取り組みを積極的にな
りたいと考えている。
平成30年度で3年目を
迎える隊員とは、その後
の活動については個別に
話をしている。きつちり
方向性は定まっていな
い。担当課としては卒業
後も何らかの形でかわ
ってほしいと考えてい
る。



発明ラボが開発したおみやげの数々

国旗掲揚 町全体で取り組んでは

町長 ひとりひとりの考えで

国民の祝日の国旗掲揚
について、町をあげて取
り組んではどうか。
堀見町長 私も国旗を購
入し、祝日には掲げるよ
うに努力している。国旗
を掲揚するかしないかそ
れぞれの判断だと思つ。
町民一人一人、日本国民
としてどういうふうにし
るのか自由に考えるのが
いいと思つている。



国旗掲揚 あなたは どうする



西村 清勇 議員

市の瀬、立野との合流
点の四差路の拡張はでき
ないか。
また馬の原トンネルの
東側の水路にふたはでき
ないか。

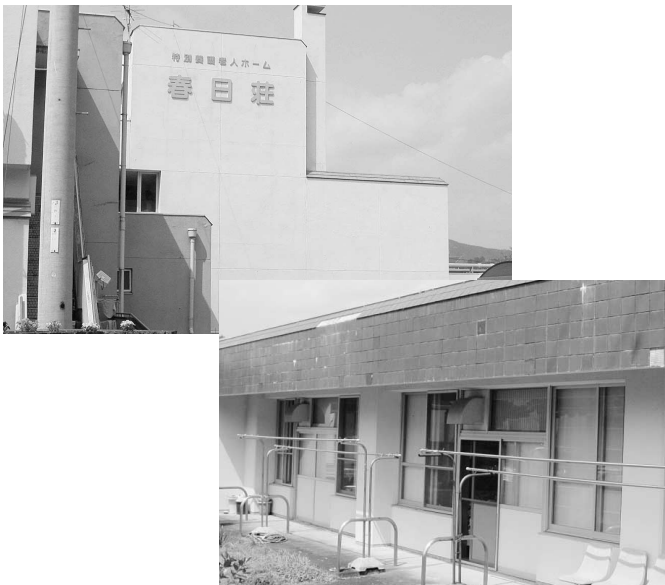
公文産業建設課長 その
道路は町道市ノ瀬線改良
工事区間として現在設定
されている。
用地の地権者及び耕作
者との協議が整わず事業
がストップしていた。し
かし平成30年度に用地買
収に着手し、平成31年か
ら工事の見込み。
事故の実態を踏まえ、
馬の原トンネル左カーブ
内側にふたをかけるなど
して、安心して道路を利
用し交通安全の確保を進
めていきたい。

中野農免道路等の 安全確保を

町長 決断したとおり進める



安全になるといいね



老朽化した春日荘

春日荘の 建て替えは

町長 広域で耐震改修工事を行う予定

春日荘は昭和49年に建
築され老朽化し、町民か
らも建て替えてはこの声
があがっているが町長は
どのように考えているか。
堀見町長 春日荘は高吾
北広域事務組合で検討を
している。平成31年に耐
震診断を行い、平成32年
度に設計、平成33年以降
3年をかけて順次耐震
改修工事を行うべく予
定だと聞いている。

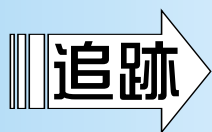
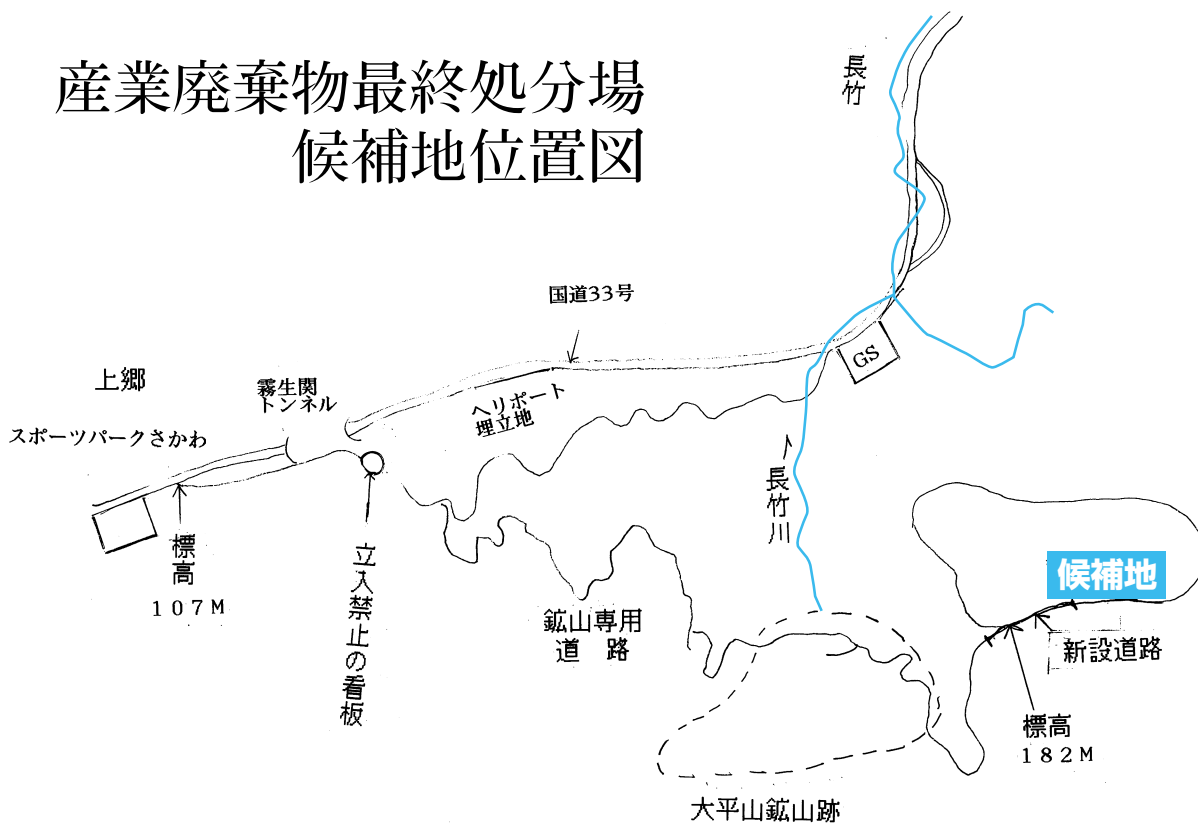
ふるさと納税返礼品 野菜等も対象に

総務課長 はちきんと協議中

ふるさと納税は、町に
とつてもメリットのある
制度であるが、普及所や
はちきんと連携をとり、
野菜も返礼品に使うよう
な契約を結ぶのでは。
麻田総務課長 はちきん
の店との連携について、
現在協議中。
野菜セットについては
は、当然野菜の数量確保
が一番の課題と思う。農
家と直接生産調整を行う
のではなく、団体の皆さ
んと出荷の調整を行って
いくほうが望ましいとき
えている。



産業廃棄物最終処分場 候補地位置図



あれはどうなったが？



子育て世代包括 支援センター (平成28年3月定例会)

妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を実施するための子育て世代包括支援センターを立ち上げるべきだ。
(松浦議員)

健康福祉課長 答 弁

検討している

平成30年度に子育て世代包括支援センターを立ち上げる方向で検討している。

平成30年度設置

平成30年度から、新たに「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を実施する。

どう
なった

あの質問のゆくえ

No.45

—住民の信頼に応えられる議会へ—

議会懇談会を開催します



懇談会へ参加してね

佐川町議会では今年も議会懇談会を開催します。
今回で6回目を迎えました。さらに、住民に信頼される議会に向けて、皆さんの生の声をお聞きし、その思いを真摯に受け止め、住みよい町づくりの役に立てたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

月 日	地区名	場 所	時 間
5月 8日(火)	加茂地区	集落活動センター 加茂の里	19時から
5月 9日(水)	尾川地区	集落活動センターたいこ岩	18時から
5月14日(月)	黒岩地区	集落活動センターくろいわ	18時から
5月18日(金)	佐川地区	役場2階大会議室	19時から
5月23日(水)	斗賀野地区	集落活動センターあおぞら	19時から

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月8日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

今年2月、佐川町が産業廃棄物最終処分場の候補地の一つになると発表されました。処分場に決定すると、その廃棄物は半永久的にそこに放置されることとなります。その廃棄物が将来にわたって本当に安全で安心できるのか不安です。

大地震が必ず起こると言われています。その時どうなのか、将来に禍根を残さないよう、みんなですっきり考え、町の未来を決めていきたいですね。

坂本玲子

議会広報編集委員会

委員長	下川 芳樹
副委員長	西森 勝仁
委員	坂本 玲子
委員	宮崎知恵子
委員	橋元 陽一

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をあ寄せください。

地域で がんばる

少年野球チーム 佐川ガッツ

「ガッツができてどれくらいになりますか。」

もう43年になります。

「長い歴史ですね。監督になってどれくらいですか。」

8年になります。

「指導者は何人いますか。」

全部で6人います。みんな力を合わせてやっています。

「指導者になろうと思っ
たわけは。」

「ぼくも小学生の時お世話になっていました。自分の息子が小学生になって、一緒にやりはじめました。それからずっと続けています。」

「それは大変ですね！
現在、何人ぐらいの子ど
もがいますか。」

「今は12人です。昔、多いときには40人を超えていたときがありました。」

「1週間にどれくらい練習しますか。」

「月、水、金の4時30分から2時間程度。土日も練習や試合があります。」

「すごい！じゃ自分の時間はあまりありませんね。」

「たまに時間ができると何をしたいかわからない自分があります。何か趣味をと思うのですが。」

「大切にしていること
(モットー)は何ですか。」

「挨拶、返事、グラウンドでは全力疾走です。」

「子どもたちにどう育ってほしいですか。」

「勝ち負けにはあまりこだわりませんが、人間として大切なことを身に付けてほしいと願っています。」

「やっていてうれしい時は。」

「子どもたちが卒団するときですかね？何とかここまでできたかと思うとうれしいです。」

「さかわの子どもたちのために頑張ってくださいありがとうございます。」

「あなたの周りで、佐川町の元氣のために頑張っている『組織やグループ』をぜひご紹介ください。」

今回は43年の歴史を持つ佐川ガッツにお邪魔しました。長年佐川ガッツの指導を続けてこられたたくさんの方々。先輩の指導を引き継ぎ、今活躍されている監督、指導者にお話を伺いました。



監督の岡田秀和さん



指導者の皆さん

岡田さん 徳弘さん 琴美さん (OG)
西山さん 奥田さん 三木さん



佐川ガッツの皆さん